

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公表番号】特表2002-539224(P2002-539224A)

【公表日】平成14年11月19日(2002.11.19)

【出願番号】特願2000-606063(P2000-606063)

【国際特許分類】

A 0 1 N	1/02	(2006.01)
A 6 1 K	31/167	(2006.01)
A 6 1 K	31/4409	(2006.01)
A 6 1 K	31/64	(2006.01)
A 6 1 K	31/7076	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	1/02
A 6 1 K	31/167
A 6 1 K	31/4409
A 6 1 K	31/64
A 6 1 K	31/7076
A 6 1 K	45/06
A 6 1 P	43/00

1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有効量の(i)カリウムチャンネル開口剤またはアゴニスト、およびアデノシン受容体アゴニストから選択される少なくとも一の化合物、(ii)局所麻酔剤、並びに(iii)約10mMまでのカリウム濃度を有する、薬学的に許容される担体、希釈剤、アジュバント、および/または賦形剤を含む、臓器の停止、保護および/または保存のための組成物。

【請求項2】

前記カリウムチャンネル開口剤またはアゴニストが、ニコランジル、ジアゾキシド、ミノキシジル、ピナシジル、アプリカリム、クロモクリム、NS-1619(1,3-ジヒドロ-1-[2-ヒドロキシ5(トリフルオロメチル)フェニル]5-(トリフルオロメチル)2-H-ベンイミダゾール-オン)、アムロジピン、Bay K 8644(L型)(1,4-ジヒドロ-2H-ジメチル-5-ニトロ-4[2(トリフルオロメチル)フェニル]-3-ピリジンカルボン酸(メチルエステル))、ペブリジル・HCl(1型)、カルシセプチン(L型)、-コノトキシンGVIA(N型)、-コノトキシンMVIC(Q型)、シプロヘプタジン・HCl、ダントロレンナトリウム(Ca²⁺放出阻害剤)、ジルチアゼム・HCl(L型)、フィロジピン、フルナリジン・HCl(Ca²⁺/Na⁺)、フルスピリレン(L型)、HA-1077・2HCl(1-(5イソキノリニルスルホニル)ホモピペラジン・HCl)、イスラジピン、ロペラミド・HCl、マノアリド(Ca²⁺放出阻害剤)、ニカルジピン・HCl(L型)、ニフェジ

ピン（L型）、ニグルジピン・HCl（L型）、ニモジピン（L型）、ニトレンジピン（L型）、ピモザイド（LおよびT型）、ルテニウムレッド、リアノジン（SRチャンネル）、タイカトキシン、ベラパミル・HCl（L型）、メトキシ-ベラパミル・HCl（L型）、YS-035・HCl（L型）[2-(3,4-ジメトキシフェニル)エチル]-3,4-ジメトキシ-N-メチルベンゼンエタンアミン・HCl）、並びにAV遮断薬から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記カリウムチャンネル開口剤またはアゴニスト、またはアデノシン受容体アゴニストがアデノシンである、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記アデノシン受容体アゴニストが、N⁶-シクロペンチルアデノシン（CPA）、N-エチルカルボキサミドアデノシン（NECA）、2-[p-(2-カルボキシエチル)フェネチル-アミノ-5'-N-エチルカルボキサミドアデノシン（CGS-21680）、2-クロロアデノシン、N⁶-[2-(3,5-ジメトキシフェニル)-2-(2-メトキシフェニル)エチルアデノシン、2-クロロ-N⁶-シクロペンチルアデノシン（CCPA）、N-(4-アミノベンジル)-9-[5-(メチルカルボニル)-D-ロボフラノシリル]アデニン（AB-MECA）、([IS-[1a,2b,3b,4a(S*)]]-4-[7-[2-(3-クロロ-2-チエニル)-1-メチル-プロピル]アミノ]-3H-イミダゾール[4,5-b]ピリジル-3-イル]シクロペニタンカルボキサミド（AMP579）、N⁶-(R)-フェニルイソプロピルアデノシン（R-PLA）、アミノフェニルエチルアデノシン（APNEA）、およびシクロヘキシリアデノシン（CHA）から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記局所麻酔剤が、メキシレチン、ジフェニルヒダントイン、ブリロカイン、プロカイン、メピバカイン、およびクラス1B抗不整脈剤から選択される、請求項1～4の何れか1項に記載の組成物。

【請求項6】

前記局所麻酔剤がリグノカインである、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

前記組成物が、心停止または心臓保護のための組成物である、請求項1～6の何れか1項に記載の組成物。

【請求項8】

前記薬学的に許容される担体、希釈剤、アジュバント、および/または賦形剤が、約6～約9のpHを有する緩衝液である、請求項1～7の何れか1項に記載の組成物。

【請求項9】

前記薬学的に許容される担体、希釈剤、アジュバント、および/または賦形剤が、約20mMまでのマグネシウムを有する、請求項1～8の何れか1項に記載の組成物。

【請求項10】

前記マグネシウムの濃度が約2.5mMまでである、請求項9に記載の組成物。

【請求項11】

ジピリダモールまたは血餅破裂薬を更に含む、請求項1～10の何れか1項に記載の組成物。

【請求項12】

臓器を停止、保護および/または保存するための医薬の製造における、請求項1～11の何れか1項に記載の組成物の使用。